

◆◆◆ グアム日本人学校から ◆◆◆

【新しいホームページ】

4月以来公開を中止していた学校のホームページですが、新ホームページがまもなく完成し、「ラッテ」8月号がお手元に届く頃には皆様に公開できる運びになりました。これからは従来通りに、この「ラッテ」などとあわせて子供たちの様子など学校の情報を発信していきます。

とは言っても現段階では、内容が乏しく「工事中」のページが多くなっています。今後、皆様からもご意見を伺いながら内容の充実に努めて、今まで以上に親しみやすいホームページにしていきたいと考えています。

URLは、<http://japaneseschoolguam.com/> です。宜しくお願いします。

【インフルエンザなどによる学級閉鎖（小3、小5、中1）】

6月16日の運動会終了後、子供たちの欠席者が目立ち始め6月末には小学部三年生にインフルエンザと診断された児童が出て(在籍12名中7名欠席)28日(金)に学級閉鎖をせざるを得ない状況でした。1週おいた7月8日(月)には小学部5年生にもインフルエンザと診断された児童が出て、さらに中学部1年生在籍7名の全員が熱などによる体調不良のため欠席。そのため小5・中1は2日間の学級閉鎖となりました。7月15日からの水泳学習(3日間)も中止しなければならないのかと心配しましたが、なんとか予定通りに実施しました。

【フリーマーケット御礼】

7月13日(土)8:00~10:00 PTA主催のフリーマーケットが終了しました。地元の人達には楽しみにしている人も多いようで7時頃にはもう行列ができていました。PTAの学校支援が目的ですが、日本人会の多くの方々から物品を寄付していただくなど、たくさんの協力をいただきました。どうも有り難うございました。

日本人学校 校長 森田 正人



◆◆◆ グアム日本人学校幼稚部から ◆◆◆

ラッテ6月号でお知らせしたように、補習授業校は6月23日から8月9日まで48日間の夏休みに入っています。そして、8月10日に第2学期がスタートするので、ラッテ8月号がでる頃は長〜い、長い2学期が始まっています。

1学期の授業時数が44時間(11日)であるのに対して、2学期の授業時数は80時間(20日)と、約2倍の長さがあります。この1学期は大きな行事はありませんでしたが、学期末に漢字大会が行われました。漢字大会は、年3回学期末に行われますが、ねらいは「漢字の読み書きの力を伸ばす」ことですが、この漢字大会に取り組むことで、漢字に対して興味を持つと同時に、覚えようという意欲を高めることもねらいとしています。

どの子も「満点賞」をめざして、一生懸命練習してきました。そのせいか、毎回たくさんの子が満点賞をもらいます。中には98点や96点の子もいて、悔しい思いをしている子もたくさんいます。もちろん全員に「満点賞」を取って欲しいと思っているのですが、つらい思いや悔しい思いを経験することも大切な教育なので、この経験をバネにしてのびて欲しいなと願っています。

さて、話は変わりますが、どこの学校にも教育目標というのがあり、その目標達成のために教育活動を行っています。本校の教育目標は「児童・生徒の母国語である日本語の活用能力を高め、日本語で考えることのできる子の育成を目指す。」となっています。昨年、私が担任している中学部の子どもたちに「英語と日本語のどちらで考えるか」を聞いたところ、ほとんどの子が英語で考えると答えました。

補習校の児童・生徒全員に聞いたわけではないので正確な数は分かりませんが、日本語で物事を考える子の割合はかなり低いのではないかと思います。そうした状況の中で、「日本語で考えることのできる子の育成を目指す」という目標を達成するのは容易なことではありません。日本に住んでいる子どもたちは日常生活の中で、たくさんの日本語を学んでいます。それと同時に、国語の授業で、「一応は」系統的に配列された内容を総合的に学んでいます。つまり、日常的に学ぶことと授業で学ぶことの相互作用で、日本語を広く、細かく、深く学んでいます。

しかし、グアムで育った子どもたちは国語の授業だけで、日常的に日本語を学ぶ環境がありません。この「学びの相互作用」があまりない子は、なかなか日本語の力がつかないし、定着しません。ですから、補習授業校では「英語で話さない」ということを子どもたちに指導するだけでなく、ご家庭でも「できるだけ日本語で話してください。」とお願いをしているわけです。

補習授業校 校長 本間 勲

